

# 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2021.3.22
作成 高齢者支援センター	町田1
作成者	齋藤美和子

1.開催日時	2021年3月22日	(月)	19:00	~	20:00
2.会場	zoom使用によるオンライン開催				
3.主催センター	町田1	・	町田2	・	町田3
4.参加人数	19				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 7人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係 7人 (うち、医師 1人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 2人		
	<input type="checkbox"/> 民生委 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政 2人		
	<input type="checkbox"/> その他 ( )				
6.開催テーマ	おくすり手帳の活用と連携促進に向けた今後の取り組みについて				
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>連携ツールの課題や更なる活用について継続的に検討を重ねた結果、おくすり手帳の活用促進・連携ツールとしての可能性に着目しオリジナルのおくすり手帳カバーを作成した。1000冊の試用・効果測定を多職種で共有した。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おくすり手帳の正しい使用法の啓発が必要である</li> <li>・専門職間の連携不足の解消。</li> </ul>				
8.会議の内容	<p>①2021.2.26の地域ケア推進会議において、おくすり手帳カバー試用・効果測定アンケートの報告と、服薬支援に係る意見交換を行った。101名の参加(内薬剤師36名)と多くの方に取り組みを知って頂くことが出来た。意見交換や事後アンケートからカバーの有効性やおくすり手帳を活用する意識の高揚が見られた。関わる専門職が共有したい情報を手帳に書き込むことで本人・ご家族も確認でき、連携の一手段となることを確認できた。情報の内容や共有したい範囲により、ICT等他の連携手段とも併用することも必要と思われる。</p> <p>②参加者の個別事例から、認知症初期の高齢者の初回介入の難しさや、コロナ禍の長期化に伴うフレイルの懸念等が課題として上がった。また医療機関よりコロナ禍により地域が見えづらい状況にあるとの意見があった。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>①おくすり手帳を活用した連携事例を検証しどのような情報を共有することが有効か？連携を行う事がより良い支援に役立っているか検証を行う</p> <p>②認知症初期の方へ介入方法や、フレイル対策等上がった課題について、圏域での取り組みを検討を行う</p> <p>③オンライン会議の開催及び運営方法についても多くの意見があったため、オンラインでも有意義な会運営が出来るよう検討を行い今後も活用を行う。</p>				